

研修名 マネジメント（リーダーシップ）

平成29年7月6日（木）10:00～12:30

講演・演習 「保育園・こども園におけるリーダーシップ」

講師 株式会社エイデル研究所 小林 雄二郎 氏

## 1 講演要旨

### ①オープニング講義

- 1) “組織の定義” ある目的を遂行するために複数の人が集まった協働の仕組みであり、そこではシナジー(相乗)効果の向上を求めている。
- 2) “シナジー “が組織活動の意味  
組織活動をいかにシナジー効果で向上させられるか→リーダーシップ
- 3) チームワークがとれている状態
  - ・チームワークとは皆が一体となって目標や共通の課題に向かって一緒に動いている≠ただメンバー間の仲が良い。
  - ・チームワークがとれている状態
    - ①目標の明確化と共有化
    - ②計画（戦略）
    - ③役割分担
    - ④権限の委譲と責任の明確化
    - ⑤相互支援

※その手段としてコミュニケーションを確立して情報を提供することが不可欠

- 4) 組織のコミュニケーション「ハウレンソウ」 報告・連絡・相談
- 5) チームワークの3つのレベル
  - 第1のレベル「メンバーの円滑な連携」わきあいレベル
  - 第2のレベル「役割を超えた活動」助け合い提案レベル
  - 第3のレベル「創発的なコラボレーション」喧々囂々レベル
    - 突拍子もないアイデアが誰かによって具現化される。
    - ガンガン言い合える。
- 6) 組織活動と指導職の位置
  - 1人ひとりの役割分担を明確にすることが統制のとれた効率の良い組織運営の第一歩

### ② 演習 メンバーへの業務割当

- ・演習・行事にあたり役割分担をする立場のものが、成功に導く適材適所に配置を考える。～正解はないが、1人1人の内側がどれだけかかわっていて求めているものがはっきりあるかが大切。

### ③ 演習と解説 リーダーの仕事自己チェック

- ・リーダーに求められる6つの機能
  - ①指示要望
  - ②受容共感
  - ③コミュニケーション
  - ④自己責任
  - ⑤利用者指向専門
  - ⑥人材育成

### ④ 演習と解説 状況対応のリーダーシップ

- 1) 演習、効果のあるリーダーシップ うまい介入の仕方  
→自分のリーダーシップのあり方ではない。
  - ・集団の状況によって援助のあり方が違う
  - ・リーダーによる指示的行動、援助的行動
- 2) 状況対応型リーダーシップ  
支持型・コーチ型・援助型・委任型—組織の成熟度による（個人・集団）
- 3) 状況対応リーダーシップ理論における適応モデル

## 2 感想

園内での研修などにより勉強してきたことが具体的に示されハッキリさせてもらった研修となった。有効的にそれぞれの立場が動け、影響を与えられる存在になれるように、又、今ある会議が良いものになりたいと気持ちをあらたにし、SWOT分析の注意点3つは印象的で、関心を広げ視野を広げる努力の必要性を感じた。普段と違う角度から入ってくる研修内容で良い刺激となった。

(記録 福知山丹陽保育園 岡本めぐみ)

